

平成30年度 事業報告書

I 概要

障害のある人を取り巻く環境はここ数年大きな転換期を迎えている。障害者差別解消法の施行や、障害者総合支援法及び児童福祉法が成立するなど、障害者の人権擁護の確立と福祉の増進が一段と推進されている。

2020年の東京パラリンピックではゴールボールなど4競技が本県で開催されることから、県民に障害者に対する理解を深める絶好の機会となっている。

一方、県では、平成29年度で終了する「第五次千葉県障害者計画」に代わり、平成30年度からスタートする「第六次千葉県障害者計画」を策定し、その推進に取り組んでいる。

千葉県身体障害者福祉協会は、このような国・県の障害者施策の動向を踏まえ、会員の減少と高齢化が進む中、市町村身体障害者福祉会の活動の活性化と新会員の確保を推進すると共に、全ての障害者が当たり前に地域でその人らしく生活できる社会の実現を目指して、次の事業等を行った。

II 平成30年度役員会等の開催状況

理事会 3回 (5/29)・(9/27)・(3/19)
評議員会 2回 (5/29)・(3/19)

III 事業実施結果

1. 身体障害者生活行動訓練事業

(1) キャンプ訓練

平成30年6月30日「市原市農業センター」で73名が参加した。

(2) スポーツ・レクリエーション講習会（ポッチャを体験しよう！）

平成31年2月19日スポーツ科学センター 多目的アリーナで31名が参加して実施し、ルール、戦術等の内容を確認した。

(3) 福祉講座

身体障害者が見聞を広め、教養を高め、情操を養い、調和のとれた励みある日常生活を送ることを目的に、県内各地区で「福祉講座」を開催した。

福祉講座実施状況

| 実施日 | 会場 | 講座テーマ | 受講者数 |
|-----------|---------------|---------------------|------|
| 30. 6. 19 | 習志野市消防本部 | 「身体障害者対象の救命救急法を学ぼう」 | 57名 |
| 7. 31 | 八街市中央公民館 | | 112名 |
| 8. 24 | 君津市生涯学習交流センター | | 53名 |
| 計 | | | 222名 |

2. 身体障害者相談員活動推進事業

(1) 相談員活動推進委員会

身体障害者相談員活動推進委員会を平成30年9月27日に開催し、身体障害者相談員の資質の向上と相談員活動の充実を図るため、平成30年度の相談員研修会の研修内容や開催地等について協議した。

(2) 身体障害者相談員の委嘱状況調査

市町村の身体障害者相談員の委嘱状況等を把握するための調査を行い、相談員名簿を作成した。

(3) 身体障害者相談員研修会の実施

相談員の識見と資質の向上を図り、相談員活動の活性化を推進するため県内3地区に分け、研修会を実施した。

(研修内容)

- ① 最近の消費生活相談事例から
- ② よい人間関係を築くためには

相談員地区別研修会開催状況

| 実施期日 | 研修会場 | 対象市町村 | 参加者数 | | |
|----------|-----------------------|--|------|-----|------|
| | | | 相談員 | その他 | 計 |
| 30.12.7 | 千葉県 総合保健医療 センター | 習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市・市川市 浦安市・船橋市・松戸市・流山市 野田市・柏市・我孫子市・成田市 佐倉市・四街道市・八街市 千葉県（若葉区・緑区・美浜区） | 66名 | 29名 | 95名 |
| 30.12.10 | 千葉県 総合保健医療 センター | 富里市・印西市・白井市・酒々井町 栄町・香取市・神崎町・多古町・東庄町 銚子市・匝瑳市・旭市・東金市 大網白里市・九十九里町・山武市 横芝光町・芝山町・市原市 千葉県（中央区・花見川区・稲毛区） | 46名 | 27名 | 73名 |
| 30.12.13 | いすみ市 大原文化 センター | 茂原市・一宮町・睦沢町・長生村 白子町・長柄町・長南町・勝浦市 いすみ市・大多喜町・御宿町・館山市 鴨川市/南房総市・鋸南町・木更津市 君津市・富津市・袖ヶ浦市 | 26名 | 24名 | 50名 |
| 計 | | | 138名 | 80名 | 218名 |

3. 障害者週間推進事業

(1) 第50回千葉県身体障害者福祉大会

平成30年11月20日千葉市の「青葉の森公園芸術文化ホール」（千葉市）で開催した。

滝川伸輔千葉県副知事をはじめ、多数の来賓と約350名の市町村身体障害者福祉関係者が参加した。

この大会は、障害者週間行事の一環として身体障害者の社会参加意欲の向上と自覚を高め、自立を推進し「完全参加と平等」を目指すと共に地域社会の理解を深め、もって身体障害者の福祉の増進を図ることを目的として開催するもので、大会では社会福祉事業功労や作文、ポスターの最優秀作品に対する知事表彰、身体障害者福祉に功労のあった個人・団体及び自立更生の顕著な会員に対する理事長表彰や感謝状の贈呈が行われた。

| | | | | | |
|---------|-------------|--------------|---|-----|-----|
| ① 知事賞 | 心の輪を広げる体験作文 | 最優秀 2名・優秀 3名 | | | |
| | 障害者週間のポスター | 優秀 2名・優秀 2名 | | | |
| ② 理事長賞 | 心の輪を広げる体験作文 | 2名 | | | |
| | 障害者週間のポスター | 2名 | | | |
| ③ 理事長表彰 | 特別功労者 | 3名 | ・ | 功労者 | 14名 |
| | 自立更生者 | 2名 | ・ | 感謝状 | 4名 |

また、講演では、ウィルチェアーラグビー2016 リオパラリンピック銅メダリスト官野一彦氏による～不自由だけれど不幸ではない～と題し、話を聴きました。そして、東京オリパラへのさらなる活躍にエールをおくりました。

大会決議

- 1 障害のある人が普通に暮らせる地域社会の実現を目指そう
- 2 地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 3 障害者差別解消法の理解啓発を図り、地域社会の意識改革を目指そう
- 4 情報ネットワークの利用等により、コミュニケーションの拡充を目指そう

(2) 第47回千葉県身体障害者作品展

身体障害者が自らの趣味やリハビリ活動の中でその技術を活かして製作した作品を公開展示して、障害者の積極的な自己表現の場を提供し、自立への大きな活力とすることを目的に、平成30年10月23日から28日まで千葉県立美術館で開催した。121名の方々から204点の力作が展覧され、約1,200名の見学者が訪れた。

最優秀作品には知事賞、千葉県教育長賞、千葉県立美術館長賞、理事長賞等、11名に授与した。

また、第33回障害者による「書と写真」全国コンテストには本県から16点応募した。

4. 障害者社会参加推進センター運営事業

(1) 千葉県障害者社会参加推進協議会

障害者の多種多様な需要を的確に把握し、障害者の自立と社会参加を推進するため、平成30年7月20日千葉県障害者社会参加推進協議会を開催し、協議会構成団体から社会参加推進関連事業の実施状況や課題、問題点等の報告を行い、これに基づき意見交換を行った。

(2) 「ちばけん障害者社会参加推進センターだより」の発行

第18号を7月、第19号を1月に各4千部発行し、推進協議会構成団体、市町村身体障害者福祉会、市町村福祉担当課、社会福祉協議会等へ配布した。

(3) 障害者社会参加推進講座

障害者の健康づくりと社会参加を推進するため、平成30年12月4日千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターにおいて、「脳トレしましょう!!」と題し、歌、体操、ゲーム等を行い、26名が参加した。

(4) 千葉県障害者社会参加推進センターの運営

協会内に事務局を設けている千葉県障害者社会参加推進センターの運営を活発に行うため、推進協議会構成団体との連携を強めると共に、インターネットによる情報提供を行うため、ホームページの更新を行った。

5. 車いす仕様車運営事業

障害者の社会参加と自立を促進するため、協会の各事業に車いす仕様車を運行した。

6. 身体障害者の相談事業

(1) 生活相談全般

生活相談員が生活・就職・年金・補装具・医療、結婚等、面接に応じ出会いの場を提供する等々の幅広い相談に応じ、適切なアドバイスを行い、障害者の自立支援と福祉の向上を図った。

生活相談内容 (平成31年3月末)

| 相談内容 | 件数 | 相談内容 | 件数 | 相談内容 | 件数 |
|------|----|------|----|------|-----|
| 医療 | 2 | 施設入所 | 1 | 結婚 | 159 |
| 手帳交付 | 4 | 生活 | 5 | その他 | 26 |
| 補装具等 | | 住居 | 2 | 仕事 | |
| 計 | | | | | 199 |

(2) ふれあい交流事業

平成30年4月14日(土)に「盛りだくさん春の銚子で交流会」を開催。障害のある人もない人も合わせて36名が参加した。ヤマサ醤油見学、いちご狩り(東庄町)、ウオッセでの美味しい食事を楽しみながらのふれあい交流会は好評だった。

7. 身体障害者体育振興事業

(1) 千葉県障害者スポーツ大会

障害者の自立と社会参加を促進することを目的とした平成30年度千葉県障害者スポーツ大会は、平成30年5月27日「千葉県総合スポーツセンター」陸上競技場等で開催され、主催者の一員として大会運営に参加した。

(2) 地区障害者スポーツ大会事業費助成事業

スポーツを通して障害者の体力の維持増進を図ると共に、障害者の社会参加の推進と障害者に対する県民の理解を高めることを目的に地区単位で開催する障害者スポーツ大会の経費に対し、助成金を交付した。

地区障害者スポーツ大会開催状況

| 開催日 | 地区 | 場所 | 参加者数 |
|---------|-------|------------------|------|
| 30.10.3 | 山武地区 | さんぶの森中央体育館 | 140名 |
| 10.10 | 印旛地区 | 富里社会体育館 2階アリーナ | 75名 |
| 10.9 | 香取地区 | 香取市市民体育館 | 105名 |
| 10.13 | 長生地区 | 一宮町 GSS センター | 194名 |
| 10.2 | 海匝地区 | 旭市総合体育館 | 150名 |
| 9.18 | 東葛飾地区 | 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター | 48名 |
| 11.1 | 夷隅地区 | 文化とスポーツの森スポーツ広場 | 26名 |
| 11.4 | 君津地区 | 君津グラウンド・ゴルフ場 | 33名 |
| 10.13 | 安房地区 | 南房総市嶺南中学校和田校舎体育館 | 107名 |
| 計 | | | 878名 |

(3) 第38回千葉県身体障害者ふれあい健康ボウリング大会

18市町村114名が参加して県内6ボウリング場で熱戦が展開された。

総合成績で市川市が優勝（知事杯）、八千代市が準優勝（理事長杯）に輝いた。また、平成30年11月25日に第52回宮様チャリティボウリング大会が東京都品川区で開催され、本県から男性10名、女性5名が参加し、障害者女子の部で優勝した。

ボウリング大会実施状況

| 実施日 | 会場 | 参加者数 | 実施日 | 会場 | 参加者数 |
|---------|---------------|------|---------|-----------|------|
| 30.9.15 | 北小金ボウル | 11名 | 30.9.15 | 富津スターレーン | 30名 |
| 9.15 | ときわ平ボウリングセンター | 7名 | 9.15 | 大原ガーデン | 28名 |
| 9.15 | ユーカリボウル | 7名 | 9.15 | 本八幡スターレーン | 29名 |
| 計 | | | | | 112名 |

(4) 第9回千葉県身体障害者ふれあい健康グラウンド・ゴルフ大会

平成30年6月5日、大網白里市運動広場で18福祉会、131名が参加して最良のコンディションの下、2ラウンドの熱戦が繰り広げられ、優勝、準優勝、第3位の方にトロフィーを贈呈した。

8. 身体障害者団体育成事業

(1) 市町村身体障害者福祉会指導者研修会

市町村身体障害者福祉会の指導者に様々な福祉情報を提供し、併せて福祉会相互の情報を交換することにより指導者としての知識を研鑽し、資質の向上を図ることを目的に県内3地区で研修会を開催し、延222名が参加した。

また、総括研修会(宿泊研修)は県内各福祉会から126名が参加して開催され、講演と情報交換を通して指導者としての資質の向上と福祉会相互の交流を図った。

市町村身体障害者福祉会指導者研修会開催状況

| 実施日 | 会場 | 研修テーマ | 受講者数 |
|-----------|----------------|----------------------|------|
| 30. 6. 19 | 習志野市消防本部 | 「障害のある方への虐待について考えよう」 | 57名 |
| 7. 31 | 八街市中央公民館 | | 112名 |
| 8. 24 | 君津市生涯学習交流センター | | 53名 |
| 計 | | | 222名 |
| 9. 11・12 | 総括研修(鴨川ホテル三日月) | 「健康は腸から」 | 126名 |
| 合計 | | | 348名 |

9. 「はつらつ女性講座」の開催

平成30年9月11日、鴨川ホテル三日月において、女性会員相互の情報交換をとおして婦人部の活動の活性化を推進し、輝く、はつらつ女性会員を育成するため、「良い香りのポプリ作り」と題し、講座を開催した。

10. 市町村身体障害者福祉会代表者会議

平成31年1月24日、オークラ千葉ホテルにおいて開催し、協会事業等の進捗状況報告や、福祉会相互の情報交換を行うと共に、県、障害者福祉推進課長による「平成30年度千葉県身体障害者福祉施策の展開について」と題して講演を行った。

11. 広報誌「身障ちば」の発行

身体障害者福祉思想の啓発と情報の提供・交換等を通して身体障害者福祉の向上に寄与すると共に、協会の活動をPRして関係機関をはじめ広く県民の理解と協力を得るため、「身障ちば」を年2回発行(7月「122号」・1月「123号」各6,000部発行)し、市町村身体障害者福祉会、福祉団体、県選出国會議員、県議會議員、各市町村福祉担当課、各市町村社会福祉協議会、各都道府県身体障害者福祉協会等に配布した。

12. 在宅重度障害者に対する慰問品の贈呈と激励
 県内在宅重度障害者276名（千葉市を含む）に対して慰問品（大判バスタオル）を贈り、激励した。
13. 千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターの管理運営
 千葉県の指定管理者として施設の適正な管理運営に努めると共に、障害者のスポーツ・レクリエーション及び文化等の振興を図り、障害者の社会参加の促進と健康の維持増進に努めた。
14. 日本身体障害者団体連合会の事業活動への参加
 日本身体障害者団体連合会及び関東甲信越静岡ブロック協議会の加盟団体として各種の大会、会議、研修会等に参加し、その結果を協会事業に反映させた。

大会・会議等への出席状況

| 開催日 | 会 議 名 | 開催県 |
|------------|----------------------------|------|
| 30.4.25 | 関東甲信越静岡ブロック障害者結婚相談員実務担当者会議 | 栃木県 |
| 30.6.13・14 | 日身連評議員会及び全国大会 | 群馬県 |
| 30.7.5・6 | 春季関東甲信越静岡ブロック団体長会議 | 茨城県 |
| 30.11.1・2 | 秋季関東甲信越静岡ブロック代表者会議 | 神奈川県 |
| 31.1.22 | 関東甲信越静岡ブロック相談員研修会 | 東京都 |

近県交流会への参加状況

| 開催日 | 交 流 会 | 参 加 者 数 | | | | |
|----------|-------------------------------|---------|----|-----|-----|-----|
| | | 男 | 女 | 付 添 | 事務局 | 計 |
| 30.11.10 | 関東甲信越静岡ブロック合同 「友愛の集い」（埼玉県） | 5名 | 3名 | 1名 | 2名 | 11名 |
| 31.3.2 | ジャンボひまわりの集い （山梨県） | 2名 | | | | 2名 |

15. 「JRジパング倶楽部特別会員」の入会手続きの取次ぎ588件（H31.3末）
 の入会手続きの取次ぎを行い、障害者の福利厚生を増進と社会参加の推進に努めた。